

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は、2023年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習会場等について

- (1) 練習は、プログラム記載(P40)の指定された会場で、練習会場使用日程表に従い実施すること。
- (2) 競技場内での練習は競技役員、その他の会場については、練習会場系の指示に従うこと。特に、投てき練習については、監督の付き添いのもと事故防止に努めること。

3 競技場について

- (1) 競技場の競走路および助走路は全天候舗装である。
- (2) スパイクシューズのピンの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。これらのピンの直径は、少なくとも長さの半分が4mm四方の定規に適合し、数は11本以内とする。
【TR5.2】

4 招集について

- (1) 招集所は第1ゲート下に設ける。
- (2) 招集開始時刻(点呼開始時刻)及び招集完了時刻(移動開始時刻)は、競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。種目別招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程欄を参照のこと。

	予選									
	100m 200m 100mH 110mH			400m 800m 400mH			1500m			
	組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了	
トラック	1,2	30分前	20分前	1,2	30分前	20分前	1	30分前	20分前	
	3,4	20分前	10分前	3,4	20分前	10分前	2	20分前	10分前	
	5,6	10分前	0分前	5,6	10分前	0分前	3	10分前	0分前	
	7,8	0分前	10分過	7,8	0分前	10分過	4	0分前	10分過	
		3000m 5000m			3000m SC			5000m W		
		組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了
		1	30分前	20分前	1	30分前	20分前	1	30分前	20分前
		2	15分前	5分前	2	15分前	5分前	2	5分過	15分過
		3	0分前	10分過	3	0分前	10分過			
					4	15分過	25分過			
		4×100m R			4×400m R					
		組	招集開始	招集完了	組	招集開始	招集完了			
		1,2	30分前	20分前	1,2	35分前	20分前			
		3,4	20分前	10分前	3,4	20分前	5分前			
		5,6	10分前	0分前	5,6	5分前	10分過			
		7,8	0分前	10分過	7,8	10分過	25分過			
		準決勝						決勝		
		組	招集開始		招集完了		招集開始		招集完了	
		1,2	30分前		20分前		30分前		20分前	
		3	20分前		10分前					

混成競技	トラック			フィールド	
	組	招集開始	招集完了	招集開始	招集完了
	1,2,3	30分前	20分前	1時間前	50分前
4,5	20分前	10分前			

	種目	予選		決勝	
		招集開始	招集完了	招集開始	招集完了
フィールド	走高跳	1時間15分前	1時間前	1時間前	50分前
	男子棒高跳	2時間15分前	2時間前	1時間55分前	1時間45分前
	女子棒高跳			2時間50分前	2時間30分前
	走幅跳	1時間15分前	1時間前	55分前	45分前
	男子三段跳	1時間15分前	1時間前	55分前	45分前
	女子三段跳	1時間5分前	50分前	55分前	45分前
	砲丸投	1時間前	45分前	40分前	30分前
	円盤投	1時間15分前	1時間前	45分前	35分前
	男子ハンマー投	1時間15分前	1時間前	45分前	35分前
	女子ハンマー投			1時間35分前	1時間20分前
	やり投	1時間15分前	1時間前	45分前	35分前

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものととして処理する。

(4) 招集の手順

ア 競技者は、前記(2)に示した招集開始時刻に招集所で待機し、最終確認を受けること。その際、アスリートビブス・競技用靴・衣類・持ち物等の点検を受けること。

イ ビデオ・ラジオ・CD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない。【TR6.3】

ウ 招集所は、当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。

エ 代理人による招集の最終確認は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻前までに2種目同時出場届を招集所に提出すること。なお、当該競技者でトラック競技が先に開始される場合は、トラック競技終了後ただちにフィールド種目の競技場所へ移動し、担当競技役員に申し出ること。また、フィールド競技の途中でトラック競技に出場する競技者は、競技開始前、当該競技役員にその旨を申し出ること。【TR4.3 TR25.19】

オ リレー種目について

① オーダー用紙はラウンドごとにあらかじめTICに取りに行くこと。

② TICで受け取ったオーダー用紙に必要な事項を記入し、各ラウンドとも当該組の招集完了時刻の1時間前までに、競技者係(招集所)に提出すること。また、準決勝・決勝においても、予選に準じて招集完了時刻の1時間前までに提出すること。

カ 出場種目を欠場する場合は、招集開始時刻までに欠場届を招集所に提出すること。

キ 混成競技の招集は、第1日及び第2日の最初の種目については、前記の招集時刻一覧表のとおり招集所で行う。2種目以降は、混成競技者控所で確認を受け、当該競技役員の指示に従うこと。

5 競技について

(1) 当該種目出場の競技者以外は、競技場内に立ち入ることができない。

(2) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。

(3) トラック競技は、800m以下の種目及びリレー種目の予選を9レーンで実施する。【TR20.2】

(4) トラック競技では、すべて写真判定装置(全自動電気計時)を使用する。

(5) 不正スタートについては、混成競技を除き、一度の不正スタートでその責任を有する競技者は失格とする。混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は、すべて失格とする。【TR16.8】

(6) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいても本競技会のリレーまたは他の種目に申し込んである競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても、出場するメンバーのうち少なくとも2人は当該リレー種目に申し込んだ競技者でなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り、他の競技者と交代できる。また、リレー競技に出場するチームは、同一のユニフォームを着用する。【TR5.1 TR24.10】

(7) 4×100mRの第2・第3・第4走者は、主催者が用意するマーカーを1カ所(だけ)を使用することができる。マーカーは、競技役員が現地で渡し、そのマーカー以外は使用してはならない。【TR24.4】

(8) 4×400mRの第3・第4走者のバトンの受け渡しは、コーナートップ通過順に内側より並んで行うこと。コーナートップの地点は、200mスタート地点内側に設置された黄旗で示される。【TR24.20】

(9) 男子5000m、女子3000m、男女5000m競歩は、グループスタートで実施する。【TR17.5】

- (10) フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳では助走路内）に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技では、マーカーを1カ所だけ置くことができる。そのマーカーは、サークルの直後あるいはサークルに接して置くこと。使用することができるマーカーは、競技役員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。【TR25.3】
- (11) 棒高跳の競技者は、アップライト等申告書をT I Cで受け取り、自分の希望する支柱（アップライト）の位置を記入し、招集所に提出すること。提出されたアップライト等申告書は、招集所の担当競技役員が現地まで持って行く。また、その位置を変更したいときは、跳躍競技役員に申し出ること。なお、公式練習は、バーかけ練習（ゴムバー）2回とする。
- (12) 女子棒高跳は2ピット決勝で行う。
- (13) 三段跳の踏切板は、予選・決勝とも男子は13m、女子は10mの地点に設置する。
- (14) 競技者に対する競技場内での助力は禁止とするが、助言については、「コーチングエリア」で行うものとする。
- ※ 助力とみなされず許可するものに以下の項目がある。【TR6.4】
- ・フィールド競技では、監督・コーチが競技場所に近接した観客席の一角に設けられたコーチ席から、競技者に助言することができる。【TR6.4.1】
 - ・フィールド種目に出場している競技者が、当該競技者に代わり競技区域の外にいる者によって録画されたそれ以前の試技の映像を見ること。（録画再生機器や録画映像を競技区域内に持ち込むことは認められない。）【TR6.4.5】
 - ・審判長が認めた場合に渡す帽子、手袋、靴や衣類など。（審判員を通して行うこと）【TR6.4.6】
- (15) フィールド競技（混成競技も含む）の予選については競技進行上、手拍子等の応援を求めない。
- (16) フィールド競技の公式練習は2回とする。
- (17) シューズの靴底（ソール）の厚さについて【TR5.2】
- a シューズとは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。
 - b トラック種目について、800m未満の種目（ハードル種目、4×100mR、4×400mRを含む）は20mm以下、800m以上の種目（障害物競走を含む）は25mm以下とする。ただし、競歩については40mm以下とする。
 - c フィールド種目について、三段跳以外の種目は20mm以下、三段跳は25mm以下とする。
- ※日本陸連競技規則に準ずる。
 ※競技用シューズについては【TR5.2】に基づいて実施する。必要に応じて、競技役員が競技用靴を競技前、競技中または競技後に検査することもある。
- (18) 電子機器の競技エリア内への持ち込みは禁止する。持ち込んでいる場合は、助力と見なされる場合がある。
- (19) 提出書類は、下記のとおりとする。すべてT I Cで受け取ること。なお、T I Cは招集所付近に設置する。

	提出書類	提出先	提出時間
1	欠場届	招集所（競技者係）	招集開始時刻まで
2	2種目同時出場届	招集所（競技者係）	第1種目の招集開始時刻まで
3	リレーオーダー用紙	招集所（競技者係）	当該組招集完了時刻の1時間前まで
4	アップライト等申告書	招集所（競技者係）	招集開始時刻に
5	投てき用具検査申請書	T I C	招集開始時刻までに
6	抗議申し立て（口頭）	T I C	注意事項6「抗議と上訴について」参照
7	上訴申立書（文書）	T I C	注意事項6「抗議と上訴について」参照
8	記録証交付願	T I C	競技終了後随時
9	プログラム訂正届	T I C	8月1日は16時まで 8月2日～8月6日は8時45分まで

6 抗議と上訴について【TR8】

- (1) 競技中に起きた競技者の結果または行為に関する抗議は、各都道府県監督または当該競技者の監督により、その種目の結果が正式発表されてから30分以内（同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内）に、審判長に対して口頭でなされなければならない（大型スクリーン表示終了時刻を基準とする）。抗議者はT I Cを通して抗議担当総務員に申し出ること。
- (2) 抗議に対して審判長は速やかに裁定する。審判長裁定を不服としてさらに上告する場合は、各都道府県監督または当該競技者の監督により、預託金10,000円を添えて「上訴申立書」をT I Cを通してジュリーに提出されなければならない。なお、「上訴申立書」の提出時刻は、該当種目の結果が変更された場合は、その結果が公式に発表されてから30分以内（同一日に次のラウンドが行われ

る種目では15分以内)に、または、その種目の結果が変更されなかった場合は抗議者に対して、その旨が通告されてから30分以内(同一日に次のラウンドが行われる種目では15分以内)とする。

7 アスリートビブス(以下ビブス)について【TR5.7】

- (1)ビブスは配布された大きさのものをユニフォームの胸部と背部につけること。折り曲げたり、汚したりしないこと。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。また、トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受け取り、左右後方につけること。リレー競技については4×100mRは第4走者のみ左右後方に、4×400mRは第2・第3・第4走者ともに左右後方につけること。【TR5.10】
- (2)3000m、5000m、5000mWの予選・決勝とも、胸背部に別ビブスを使用する。出場者は、競技開始1時間前までにTICへ別ビブスを受け取りに来ること。その際、正規ビブス(プログラム記載のビブス)を持参すること。
- (3)男女とも、混成競技の最終種目では、総合順位(現時点)の上位者から順番に、統一した別ビブスを胸部に使用し、背部は正規ビブス(プログラム記載のビブス)を使用する。別ビブスは、混成競技係より配布する。

8 競技場の中に商品名のついた衣類・バッグを持ち込む場合について

- (1)日本陸上競技連盟「競技会における広告および展示物に関する規定」を適用する。
- (2)飲料については、協賛社以外のメーカーのものを会社名が明示された状態で持ち込むことはできない。
- (3)競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。

9 競技の抽選ならびに番組編成について

- (1)トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側に示された番号順とする。
- (2)トラック競技の準決勝・決勝については、主催者がルールに則り、組み合わせ及びレーン順を決定する。フィールド競技(走高跳・棒高跳を除く)の決勝については、3回の試技で上位8人を選出し、記録した成績の低い順に、後3回の試技をする。トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びレーン順と、フィールド競技で予選を行った場合の決勝の試技順は、記録掲示板(札幌市厚別公園競技場メインスタンド裏)に掲示する。【TR20】
- (3)タイムによる次のラウンドに進む競技者の決定について、最終枠に同記録があるときの処置は、写真判定主任が0.001秒単位の時間を判定して競技者を決定する。【TR21.5】
ただし、同成績(0.001秒単位まで同じ)となった場合は以下の通りとする。
 - (ア)空きレーンがある場合は対象者全員を次のラウンドへ進出させる。
 - (イ)空きレーンがない場合は同成績者または代理人によって抽選する。なお、アナウンス後15分を経過しても当該競技者あるいは代理人がTICに来なかった場合は、主催者が代行する。
 - (ウ)800mについては空きレーンがない場合でも8レーン及び2レーンに2名を入れて実施する。

10 競技用具について

- (1)競技に使用する用器具は、棒高跳用「ポール」以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、「やり」については、通知した競技場備え付けの投てき用具リストに無いものの及び、2本以下のものに限り、当日検査の上使用を認める。希望者は招集開始時刻1時間前から招集開始時刻まで(混成競技は競技開始の1時間前まで)に、TICで「投てき用具検査申請書」により申し出ること。ただし、検査に合格した用具については、「預り証」を発行のうえ一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。借り上げた用具は、その選手を含むラウンド(予選1組または予選2組または決勝)の競技終了まで競技場で預かる。そのラウンドの競技終了後にTICで返却する。なお、借り上げた用具が破損しても責任を負わない。
- (2)練習用の個人の用具は、競技場内に持ち込んではいならない。
- (3)競技場に備え付けの投てき用具は、プログラム記載(P82)のとおりである。

11 記録表示について

- (1) ○ 日本高校記録 ・ ・ ・ 白地に赤高体連マーク入り標識
- (2) ◎ 大会記録 ・ ・ ・ 赤色のライン又は黄色に赤三角マーク入り標識
- (3) ● 予選通過標準記録 ・ ・ ・ 黄色のライン又は黄色の標識

12 予選通過標準記録

	走高跳	棒高跳	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	ハンマー投	やり投
男子	2m03	4m80	7m25	14m50	15m00	43m50	56m50	60m00
女子	1m67		5m80	12m10	12m60	37m50		45m50

- (1) 天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。
- (2) 予選通過標準記録を超えた競技者が 12 名に満たなかった場合は、上位 12 名まで決勝に進出させる。12 番目に同じ記録の競技者がいた場合は、下記の方法で決定する。【TR25. 12】
- ア 走高跳・棒高跳の場合
- (a) 同記録になった高さで、試技数の最も少なかった競技者
上記(a)でも決まらない時は、下記(b)を適用する。
- (b) 同記録の高さを含むすべての試技数のうち、無効試技数が最も少なかった競技者
上記(b)でも決まらない時は、複数名が決勝に進出できる。
- イ その他フィールド競技の場合
同記録となった競技者の 2 番目の記録で順位を決める。それでも決められないときは 3 番目の記録で決める。

13 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

男子走高跳	予選	1m94 (練習)	1m97	2m00	2m03				
	決勝	1m95	2m00 (練習)	1m97	2m00	以降 3 cm			
女子走高跳	予選	1m58 (練習)	1m61	1m64	1m67				
	決勝	1m60	1m65 (練習)	1m64	1m67	以降 3 cm			
男子棒高跳	予選	4m50	4m70 (練習)	4m60	4m70	4m80			
	決勝	4m60	4m80 (練習)	4m70	4m80	以降 5 cm			
女子棒高跳	決勝	3m30	3m50	3m80 (練習)	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80 以降 5 cm

- (1) 走高跳・棒高跳の決勝において、最後の一人になり、優勝者が決定するまで上記の上げ方とする。
- (2) 天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。
- (3) 第 1 位が同成績の場合による順位決定のバーの上げ下げは、走高跳 2 cm、棒高跳 5 cm とする。
【TR26. 9. 4】

男子八種 走高跳	練習	1m45	1m60	1m80					
	競技	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80 以降 3 cm
女子七種 走高跳	練習	1m25	1m35	1m50					
	競技	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	以降 3 cm	

- (1) 天候その他の条件によって上記の記録を変更する場合は、当該審判長が決定する。

14 競技場への入退場について

- (1) 全ての競技者の入退場は、当該競技役員の手配に従うこと。
- (2) 全ての競技者は、競技終了後、競技役員の手配・誘導に従い、ミックスゾーン（第 2 ゲートに設置）を通り退場する。
- (3) トラック競技の競技者の衣類は、ミックスゾーンに係員が運搬する。ただし、4×100mR 出場者の衣類は、第 4 走者のみミックスゾーンまで運搬する。他のリレー走者は競技役員の手配に従い、荷物を取りに戻った後にミックスゾーンから退場する。

15 表彰及びインタビューについて

- (1) 各種目 8 位までの入賞者は、ユニフォームまたはチームジャージ（上半身はチーム T シャツも可）で出席すること（下半身はジャージ等が望ましい）。その際、入賞者控え場所で待機し、競技役員の手配を受けること。また、優勝者の学校の部旗を掲揚するので、優勝者の関係者は、ただちに T I C に持参すること。部旗がない場合は、高体連旗を掲揚する。
- (2) 各種目 8 位までの入賞者は、競技役員の手配でインタビューエリアに移動し、インタビュー終了後は競技役員の手配で入賞者控え場に移動する。
- (3) 入賞者の得点は、1 位 8 点・2 位 7 点・3 位 6 点・4 位 5 点・5 位 4 点・6 位 3 点・7 位 2 点・8 位 1 点とする。
- (4) 総合の部は男・女それぞれ 1 位～8 位まで、トラック・フィールドの部は、男・女それぞれ 3 位ま

で表彰する。なお、総合優勝校は部旗を掲揚するので、T I Cに部旗を持参すること。

(5)男子・女子それぞれ最優秀選手を表彰する。

(6)男子・女子それぞれ総合優勝校監督を表彰する。

16 その他

(1)大会期間中に競技場で発生した傷害や疾病は、主競技場内の医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。

(2)競技中、明らかに競技続行が困難となった競技者に対し、競技者本人が競技続行の意思を持っていても、競技者の生命・身体保護の観点から審判長もしくは医師の判断で競技を中止させることがある。

(3)荷物は各自で管理すること。紛失等の場合があっても責任は負わない。

(4)記録証の交付を希望する競技者は、T I Cに記録証交付願を提出し、交付料金 500 円を添えて申し込むこと。

(5)デイリーリザルトは、インターネット（北海道陸上競技協会ホームページ <https://hokkaido-rikkyo.jp/>）上で確認できる。大会終了後、各都道府県高体連陸上競技専門委員長に記録集（電子データ）を送付する。

(6)各都道府県監督及び競技者宛の電報や遺失物は、T I Cで保管する。

(7)記録は、記録掲示板（札幌市厚別公園競技場メインスタンド裏）に掲示する。

(8)札幌市厚別公園競技場内の横断幕及びのぼり旗については、横断幕は両サイド・バックスタンドの最上部の手すりに紐で括り付けて設置すること。なお、設置にあたっては、「通路をふさいでの設置」、「養生テープ・ガムテープでの固定」、「個人名入りのもの」は禁止とする。なお、横断幕は1校1枚、のぼり旗は1校2本以内とする。

(9)各学校のテントは、許可区域以外に設置しないこと。

(10)棒高跳の「ポール」と「やり」の輸送等、取り扱いについては以下のとおりとする。

ア 基本的には持参すること。持参できない場合は、各校の責任で任意の運送業者を利用して配送すること。

イ 棒高跳の「ポール」については、「日本陸上競技連盟 配送専用マネジメントセンター」を経由して西濃運輸で往復便として取り扱うことができる。

「翔び立て若き翼 北海道総体 2023」ホームページにアクセスし、配送の流れや運賃・チャーター料の確認をしてから手続きを行うこと。

ウ 棒高跳の「ポール」と「やり」の送り先は下記宛とし、下記に示している期日・時間帯を指定すること。

・送り先 〒004-0033 札幌市厚別区上野幌3条1丁目2番1号

札幌市厚別公園競技場 管理事務所 気付

・受付日時 7月29日(土)～8月1日(火) 10:00～16:00 (時間指定はこの時間内で)

※配送された棒高跳の「ポール」は競技場左サイドスタンド裏(選手・監督受付テント裏)倉庫内に保管する。

※上記(10)アでの返送については、各自の責任で手続きを行うこと。

上記(10)イでの返送については、T I Cに専用窓口を設ける。

※棒高跳の「ポール」の配送についての問い合わせ

・(10)イの問合せ先 日本陸上競技連盟 配送専用マネジメントセンター

TEL : 0584-83-3754 Fax : 0584-78-5219

・上記以外の問合せ先 札幌市実行委員会事務局 陸上競技担当

TEL : 011-211-3970 Fax : 011-211-3921 E-mail : rikujo2023@soutai-sapporo.jp

(11)集団応援は他の競技に支障のないようにすること。

ア メインスタンド及び両サイド・バックスタンド通路での集団応援は禁止する。

イ 各フィールド種目実施場所付近での集団応援は禁止する。

ウ 競技の妨げとなる応援は禁止する。

エ 車椅子用観覧席を本来の目的以外に使用すること(観戦・休憩)は禁止する。

(12)個人情報の取り扱いに関して

ア 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用することはない。

イ 学校別参加申込書(様式2)の提出により、上記アの取り扱いに承諾を得たものとみなし、氏名・学校名・学年・都道府県名・記録の紹介や掲示板に掲載し、本大会が認めた報道機関にも公表する。

また、入賞者に対しては、インタビューエリアでのインタビューがあり、その他競技場外で取材を受けることがある。

ウ 本大会が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・雑誌・大会報告書・ホームページ等で公開されることがある。

エ 本大会が認めた報道機関が撮影した映像が、中継・録画放送されることがある。

- (13) 競技者及び監督・コーチには、競技会申し合わせによりIDカードが配布される。IDカードで行動できる範囲は、補助競技場、投てき練習場（北広島西高校）、札幌市円山競技場、平岡小学校体育館（選手控室）、イオンモール札幌平岡駐車場（選手・監督専用）とする。競技者は、競技出場時の競技場内に入ることができる。IDカード使用者は、各場内を移動する場合は、必ずIDカードが確認できるように携帯すること。なお、「投てき練習場専用IDカード」は必要に応じて、**コーチのみ（高校生不可）投てき練習会場受付で1校につき1枚配布する（会場を出るときに回収）**。
- (14) 監督会議等で確認された事項については、令和5年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会ホームページで連絡する。
- (15) 日傘の使用については、札幌市厚別公園競技場メインスタンド上段ブロック（青色ベンチ）、サイドスタンド上段ブロック（緑色ベンチ）、バックスタンド上段ブロック（青色ベンチ）のみ可とする。補助競技場では雨天時以外は傘の使用を禁止する。雨天時に関しては通行や観戦、競技の妨げにならないようにすること（事故防止のため）。